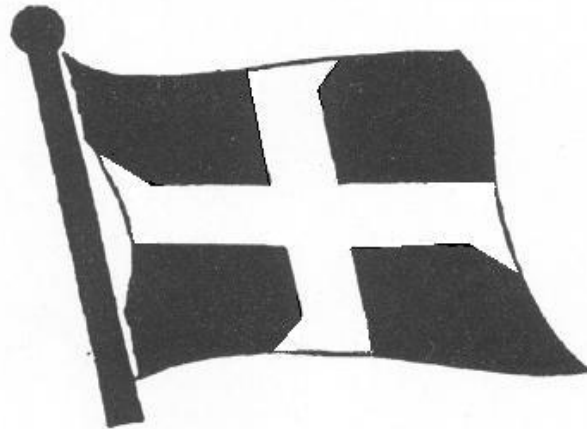


蒼穹NEWS No.6

東大戦総括号

平成23年10月8日発行



～～～ 目 次 ～～～

1. 東 大 戦 の 結 果
2. 主 将 ・ 監 督 挨 拶
3. 東 大 戦 詳 細
4. 関 西 女 子 駅 伝 の 結 果
5. 新 主 将 挨 拶
6. 新 幹 部 紹 介

東大戦結果

第84回東京大学・京都大学対校陸上競技大会

総合優勝 京都大学 (通算55勝29敗)

総合得点

京都大学 208—153 東京大学

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	京大の得点	東大の得点
100m (+2.0)	牧川 真央 10.95	眞武 俊輔 10.99	八子 基樹 11.15	春日 慶輝 11.17	塚原 和明 11.21	真木 伸浩 11.32	13	8
200m (-2.3)	牧川 真央 21.8	眞武 俊輔 22.3	真木 伸浩 22.8	水上 裕介 22.9	山田 銀河 23.2	山下 修平 23.2	14	7
400m	長谷川 聡 48.86	大澤 渉 49.95	庄司 真 49.89	小松 侑太 50.77	森 裕貴 51.06	舩島 一樹 52.14	12	9
800m	大川 亮 1.56.3	高森 一 1.56.6	水元 惟曉 1.56.9	中井 一宏 1.57.5	須田 遊人 1.59.3	原 慎一郎 2.02.7	13	8
1500m	水元 惟曉 4.02.86	久好 哲郎 4.04.29	東 大貴 4.04.89	吉岡 基 4.07.32	水谷 浩人 4.10.10	竹内 真裕 4.10.47	13	8
5000m	宮野 健司 14.50.5	平井 幹 14.52.1	青木 佑樹 14.53.3	毛芝 雄己 15.09.7	山田 竜也 15.27.3	不破 佑太 16.00.2	9	12
110mH (+0.0)	上松 祐太 15.6	栗林 健一 15.8	巽 浩之 15.9	河原 善紀 15.9	西田 光治 16.7	谷口 尚史 17.1	11	10
400mH	藤山 凌 55.50	上松 祐太 55.82	大橋 正義 57.01	高木 海平 57.23	堀田 孝之 59.87	松原 洗也 61.70	12	9
5000mW	近藤 健一 23.01.7	瀧川 朗 23.06.7	永田 和寛 23.47.1	西田 昌弘 25.11.1			3	7
4×100mR	京都大 [牧川-塚原-水上-眞武] 41.54			東京大 [八子-山下-中原-真木] 42.69			6	2
4×400mR	京都大 [花岡-庄司-森-長谷川] 3.19.0			東京大 [小松-春日-舩島-大澤] 3.23.2			6	2
トラック合計							112	82
走高跳	菅原 知絃 1m95	工藤 健太 1m90	松室 堯之 1m75	小松 寛 1m70	田中 皓介 1m70	土居 富裕 1m60	12	9
棒高跳	田中 皓介 4m50	上野 隆治 4m40	秋元 一志 4m20	土居 富裕 4m10	清水 宏幸 3m80	松原 洗也 NM	12	8
走幅跳	西村 優汰 6m86	巽 浩之 6m62	飯島 靖成 6m60	秋元 一志 6m39	栗田 徹士 6m30	廣瀬 彬 6m02	14	7
三段跳	西村 優汰 14m03	廣瀬 彬 13m57	高木 海平 13m54	巽 浩之 13m06	日浦 幹 13m01	沢登 良馬 12m55	11	10
砲丸投	林 翔太 10m36	瀧川 朗 10m23	片山 卓也 10m15	原 湖楠 10m03	矢川 勝太 9m83	神野 洋介 9m49	9	12

円盤投	佐々木 駿 39m48	林 翔太 35m40	矢川 勝太 35m11	片山 卓也 33m61	原 湖楠 31m70	川島 龍樹 23m27	10	11
ハンマー投	高橋源一郎 37m35	矢川 勝太 36m15	今村 昌平 32m11	佐々木 駿 31m17	林 真幸 28m94	三本 恭也 20m52	13	8
やり投	林 翔太 51m92	川島 龍樹 46m75	矢川 勝太 46m41	原 湖楠 44m85	上野 隆治 43m58	原 慎一郎 36m79	15	6
フィールド合計							96	71
総合得点							208	153

第10回東京大学・京都大学対校女子陸上競技大会

総合優勝 京都大学 (通算6勝4敗)

総合得点

京都大学 39—27 東京大学

	1位	2位	3位	4位			京大の得点	東大の得点
100m (+3.9)	釜谷美翔子 12.92	鈴木 理香 13.24	久保木 結 13.30	加奈山憲代 13.35			5	5
400m	釜谷美翔子 60.2	熊澤 真奈 62.9	今須 宏美 64.9	岩上 佳世 75.0			7	3
800m	岩橋 優 2.19.0	今須 宏美 2.26.5	加奈山憲代 2.28.0	鈴木 彩夏 2.37.4			6	4
3000m	岩橋 優 10.25.3	浜松 由莉 10.39.2	田中 友理 10.40.2	杉本 南 10.54.8			6	4
4×100mR	京都大 [増本-釜谷-岩橋-加奈山] 51.7			東京大 [武田-久保木-鈴木彩-鈴木理] 60.0			4	2
トラック合計							28	18
走幅跳	宮崎 伶奈 4m87	武田有希子 4m43	中尾 優里 4m30	丹家 里枝 3m89			6	4
砲丸投	武田有希子 9m29	増本 梨奈 6m58	市塚 友香 6m45	今須 宏美 6m03			5	5
フィールド合計							11	9
総合得点							39	27

主将挨拶

去る10月1日、東京大学駒場グラウンドで行われた東大戦において、各パートで圧倒的強さを見せつけ、男子は戦後最大得点、女子も大差で、事前予想通りの圧勝となりました。順位を競っているときにはほとんど競り勝ち、男子は6位、女子は4位をほとんど取らずに試合を運ぶことができました。今シーズンは関西IC、七大会と可能性はありながら目標を達成することができず、この東大戦こそはと全員で強い気迫を持って戦ったことがこの結果に繋がったのだと思います。

今後は水元(3)を中心としたチームに代替わりします。今大会で多種目優勝した牧川(2)、西村(2)を中心に多くの期待できる選手がおります。彼らなら必ずや今シーズン達成できなかった目標を達成してくれることと思います。

最後になりましたが、3年半、特に主将としての1年間、蒼穹会の皆様にお世話になり本当に感謝しております。来年度以降の後輩たちにも変わらぬご支援・ご声援よろしくお願い致します。

京都大学陸上競技部主将 秋元 一志

女子主将挨拶

去る10月1日、東京大学駒場グラウンドにて東大戦が行われました。

女子の部は、出場選手がしっかりと自分の役割を果たし得点を重ねていく展開で試合を優位に進めていきました。自己ベストを更新する選手はいなかったものの、全ての種目におきまして、勝ち越しもしくは引き分けという成績を残し、相手に隙を見せることなく勝利を収めることができました。このような結果を残せたのも、サポートや応援を含めチーム全員でいい雰囲気の中、戦っていったからだと思っています。

私はこの東大戦をもちまして女子主将の任期を終え、岩橋(3・中距離)に後を託します。人数は少ない女子部員ですが、力のある選手は多くいます。自分の専門種目だけでなく、チームのために様々な競技に挑戦し、全員で戦えるチームを作りたいと思います。

最後になりましたが、この一年間蒼穹会の皆様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。今後とも変わらぬご支援、ご声援のほど、よろしくお願い致します。

京都大学陸上競技部女子主将 上田 容子

監督挨拶

10月1日に東大駒場グラウンドにて行われました今年の東大戦は、心配された天候にも恵まれ、熱戦の結果アベック優勝を達成することができました。

男子の東京開催での勝利は6年ぶりで、これによって2連覇を達成しました。最初の種目である100mからリードを奪い、その後一度も東大に逆転を許すことなく、208点对153点という歴史的な大差で勝利を収めました。各種目を見ても、大きく崩された種目が一つも無く、チームとしての力を出し切れた試合であったように思います。女子は今回の優勝で、先輩方が作ってきた歴史を受け継ぎ見事6連覇を達成しました。1種目たりとも東大に勝ち越されることなく、それぞれが持てる力を十分に発揮しての完全な勝利でした。

今回の大勝は、準備段階から勝つための準備をしっかりと行い、部員一人一人が自分のなすべきことをやり遂げた結果であると思います。今シーズン特に男子はなかなか目標を達成できずにいましたが、この東大戦での勝利は間違いなくチームのさらなるステップアップにつながるものとなるでしょう。そのためにも、ただこの勝利に浮かれるのではなく、出場した選手、悔しくも出場できなかった選手がそれぞれに反省点を見出し、精進していかなければなりません。これから新主将の水元、岩橋を中心に、さらに強い京大を作ってってもらいたいと思います。

当日は多くの先輩方に応援に駆け付けていただき、誠にありがとうございました。今後ともどうかご支援・ご声援のほど、よろしく願いいたします。

京都大学陸上競技部監督

前田 峰尚

東大戦詳細

100m (+2.0)

優勝	牧川 真央	(2)	10.95
2位	眞武 俊輔	(3)	10.99
5位	塚原 和明	(2)	11.21

秋空のもと、東大戦の第1種目として男子100mが行われた。京大からは眞武、牧川、塚原が出場した。前半はさほど差がなかったが、中盤から牧川が抜けだし、それに眞武が続いてワンツーフィニッシュを飾った。塚原は苦しい走りになるも、競り負けず5位でゴールした。東大に勝ち越すことができ、良いスタートダッシュとなった。(栗田)



100m,200m,4継でスプリント3冠の牧川

走高跳

優勝	菅原 知紘	(2)	1m95
3位	松室 堯之	(4)	1m75
5位	田中 皓介	(4)	1m70

男子の走り高跳びは松室、田中、菅原の3名が出場した。田中、松室の2名は170cmまでは余裕をもって跳んでいたが、田中は175cm、松室は180cmの跳躍に失敗に終わり、本来の調子には遠かった。菅原は180cmから跳躍を始め、195cmまでかなり余裕をもって跳躍に成功した。これは200cmを跳んで自己ベストを更新するのではないかと思われたが、残念ながら壁は厚く跳躍は3回とも失敗に終わってしまった。しかし1回目の跳躍はかなり惜しいものであり、次回に充分つながる結果であったと思われる。(古菌)

ハンマー投

優勝	高橋源一郎	(4)	37m35
2位	矢川 勝太	(4)	36m15 PB
5位	林 真幸	(2)	28m94 PB

投擲種目の始まりとなる男子ハンマー投には、高橋、矢川、林真が出場した。高橋は安定して35m以上を出し、1等を取った。矢川はサークルから出てしまうファウルが多かったが、4回生の意地を見せ、2等に入りランキングを死守した。林真は何度かハンマーがほんの少しだけ右に出てしまうファウルがあったが、4投目で大幅なベスト更新を見せた。(近藤勇)

女子100m (+3.9)

優勝	釜谷美翔子	(2)	12.95
4位	加奈山憲代	(3)	13.35

女子の最初の種目である100mには加奈山と釜谷が出場した。加奈山はスタートから東大の選手二人と競り、途中4位だったものの、その後前をとらえて3着でゴールした。釜谷はスタートでタイミングが合わなかったもののレースの中盤以降は独走状態に。そのまま快走し、危なげなく優勝した。京大に流れを引き寄せたレースであった。(橋本宏)

1500m

優勝	水元 惟暁	(3)	4.02.86	PB
2位	久好 哲郎	(2)	4.04.29	
5位	水谷 浩人	(2)	4.10.10	

風の強く吹く中、男子1500mは行われた。最初の300mは47秒のハイペースで入った。1100mまで集団で行き、ラスト1周から勝負が始まった。水元、久好と東大トップの3人が飛ばす。水谷がじわじわとではあるが、離れ始める。先頭3人がバックストレートでさらにペースを上げる。水元が前に出て、そのまま1位。ラスト100mで久好と東大との2位争い。接戦の末、久好が制す。ラストで上がって来た水谷も東大との5位争いを繰り広げる。最後の最後まで粘り、なんとか抜き去った。競り合いに勝つことで京大を勢いづけてくれた。(吉川)



ランキングを覆し自己ベストで優勝した水元

400mH

優勝	蔭山 凌	(1)	55.50
3位	大橋 正義	(4)	57.01
5位	堀田 孝之	(3)	59.87

男子 400mHには大橋、堀田、蔭山の3人が出場した。大橋は自身の持ち味であるラストが奮わなかったが、4回生の意地を見せ、3着につけた。堀田は10台目までは3着争いをしていましたが、転倒してしまう。しかしすぐに立ち上がり、5着となった。蔭山はラストで一気にトップに上がり、1回生ながらランキングを覆す大金星を挙げた。(近藤勇)



1回生ながら優勝、4連覇へのスタートを切った蔭山

110mH (+0.0)

2位	栗林 健一	(2)	15.8
3位	巽 浩之	(2)	15.9 PB
5位	西田 光治	(1)	16.7

男子 110mHは秋の穏やかな日差しのもとで行われた。巽と栗林はスタートしてからすぐに上位を争う展開に、一方西田は出遅れたものの粘り強い走りを見せた。そしてレースは終了。栗林は2位、巽は3位、西田は惜しくも5位となった。三人とも先は長いので、これからも頑張してほしい。(西田峻)

走幅跳

優勝	西村 優汰	(2)	6m86
2位	巽 浩之	(2)	6m62
4位	秋元 一志	(4)	6m39

風が少々強く吹くなか男子走幅跳は行われた。秋元は棒高跳と時間が重なったため二、三本目をパス。その後も6m前半と調子はあまり良くない。優勝候補の西村は一本目に6m後半を跳んだが、かかとを8月に痛めていたこともありその後は全てパス。先日の記録会で自己ベストを出している巽は6m半ばを数本出し安定感を見せる。結果は期待通り西村が

優勝し、最近調子の良い巽が2位に入った。秋元はいつもの跳躍ができずに4位に終わり残念であった。(森田)



好調の巽は3種目で12点と大量得点した

女子走幅跳

優勝	宮崎 伶奈	(1)	4m87
3位	中尾 優里	(1)	4m30

女子走り幅跳びは終始弱い向かい風の中行われた。この競技あまり経験のない中尾は初めは足が合わずファール。しかし、2本目で4mを大きく越す4m30。その後はスピードを踏み切りで高さに変えることができず伸び悩んだ。宮崎は良い踏み切りからバネのある跳躍を繰り返したが、5mまでは届かなかった。しかし最後に一番良い記録を残したのはさすがである。中尾は対校戦で6本跳んだことで良い経験になったと思う。結果として勝ち越しであり、2人にはまた新たに踏み出すキッカケとしてほしい。(渡邊)

円盤投

2位	林 翔太	(4)	35m40
3位	矢川 勝太	(4)	35m11
6位	川島 龍樹	(4)	23m27

暖かい秋の日差しが降り注ぐなか、男子円盤投が行われた。京大からは林翔、矢川、川島が出場した。矢川は6回中4回とファールが多く、なかなか思い通りの投擲が出来なかったようだ。林と川島も苦しい投擲で3回の試技で終了し、得意のやり投に望みを託した。(栗田)

400m

優勝 長谷川 聡 (3) 48.86 PB⑦
3位 庄司 真 (1) 49.89
5位 森 裕貴 (2) 51.06

男子 400m には長谷川、森、庄司が出場した。序盤、庄司はスタートから積極的にとぼし、森、長谷川もバックストレートで順位を上げていく。そして後半、長谷川は素晴らしい伸びを見せ、トップでゴール。タイムも 48 秒台の好タイム。庄司、森も良く粘りそれぞれ 3 位、5 位でゴールし、この種目東大に勝ち越しを決めた。(川本)



大舞台で自己ベストを大きく更新し優勝した長谷川

女子 800m

優勝 岩橋 優 (3) 2.19.0
3位 加奈山憲代 (3) 2.28.0

女子 800m には岩橋と加奈山が出場した。スタート直後から岩橋が飛び出し、加奈山と間が開く。二人の後ろにそれぞれ東大の 1、2 番手がついていく形となった。そのままレースは進み、1 周目のトップは岩橋で 65 秒前後、加奈山は 70m 程離れて通過する。岩橋は 2 周目で東大の 1 番手をどんどん離れていき、ラストは独走でゴール。加奈山は半周過ぎからスプリント力を生かして最後には東大の 1 番手のすぐ後ろに迫っての 3 着となった。女子にとって追い風となる勝ち越しとなった。(渡邊)



岩橋は独走で東大に格の違いを見せつけ 2 冠達成

4 × 100mR

優勝 41.54 大会新
【牧川真央(2)ー 塚原和明(2)
ー 水上裕介(2) ー 眞武俊輔(3)]

男子 4 × 100mR には牧川、塚原、水上、眞武が出場した。牧川はインのレーンながら早々に東大を抜き去る。塚原はその流れをさらに押し上げ、水上は難しい駒場のカーブをきっちり走り、眞武は東大の追従を許さない圧巻の走りでゴール。大会記録を更新し、京大の応援席は歓声に沸き、勢いをもたらすリレーであった。(近藤勇)

5000mW

3位 永田 和寛 (3) 23.47.1
4位 西田 昌弘 (2) 25.11.1

OP と同時スタートのこの種目、京大は永田、西田の 2 人が出場した。二周目からは永田と東大の正選手の 3 人の第一集団、西田と東大の OP 選手との第二集団に分かれる。しばらく集団で歩いた後、2000 過ぎてから永田が東大勢 2 人より遅れ始める。その後西田は 4000 手前から OP 選手に遅れ始め、4 位に。そのまま順位は変わらず、永田は 3 位、西田は 4 位とスコルク負けを喫してしまった。(藤井)

棒高跳

優勝 田中 皓介 (4) 4m50
3位 秋元 一志 (4) 4m20
5位 清水 宏幸 (3) 3m80

先週の陸協記録会で好記録を残した三人が出場した。先週 3m80cm の PB を出して調子のいい清水は 3m60cm を危なげなく跳ぶ。3m80cm をなんとか三回目で跳び、ポールを変えて PB の 4m を目指すが惜しくも跳べず五位。先週約一年ぶりに 15ft で踏みきる事が出来た秋元は順調に跳びすすめる。4m40cm の三回目にポールを変えて挑戦するが足が入ってしまい跳べずに三位。田中は 4m50cm を二回失敗したあと、ポールを変えて挑戦して執念で跳んで優勝を決める。蒼穹記録タイの 4m70cm に挑み、跳ぶことはかなわなかったが最後の東大戦を有終の美を飾ることができた。(岡田)

女子 400m

優勝 釜谷美翔子 (2) 60.2
2位 熊澤 真奈 (1) 62.9

女子 400m には釜谷、熊澤の 2 選手が出場した。スタート直後に釜谷が飛び出していき、200m 地点で独走体勢を作りそのまま東大の 2 選手に大差をつけて 1 位でゴールした。熊澤は 200m 付近から前に出はじめてそのまま 2 位を死守した。見事にスコンクを果たし、京大を勢いづけるレースとなった。(荒木)



圧倒的な走りで東大勢を置き去りにした釜谷は 3 冠達成

800m

優勝 大川 亮 (4) 1.56.3
3位 水元 惟暁 (3) 1.56.9
4位 中井 一宏 (1) 1.57.5

スタート後オープンレーンとなって抜き出たのは大川、後ろに中井、水元と続いた。一周目終了時点では大川が先頭を守り、水元が順位を上げて二位、中井は五位と後方で構える。ラスト二百メートルでは選手皆スパートをかけ、後ろで控えていた中井が先頭集団に切り込んだ。しかし、水元と共に東大の一番手のラストスパートに食われ、追い抜くことが出来なかった。結果は、大川が終始先頭に位置し優勝、水元が三位、中井が四位となった。(夫津木)



最後の東大戦を無事連覇で飾った大川

200m (-2.3)

優勝 牧川 真央 (2) 21.8
2位 眞武 俊輔 (3) 22.3
4位 水上 裕介 (2) 22.9

男子 200m には牧川、眞武、水上が出場した。号砲が鳴った瞬間、すでに牧川が圧倒的な飛び出しを見せ優勝を確信させた。他の 5 人は混戦となっており、ゴール手前まで競り合いが続いたが、眞武が抜け出し 2 着、水上は僅差で競り負け 4 着となった。スコンクはかなわなかったが大きくリードを取る結果となった。牧川と眞武に追いつけるように、水上もこれから頑張ってもらいたい。(仁木島)

砲丸投

優勝 林 翔太 (4) 10m36
5位 矢川 勝太 (4) 9m83
6位 神野 洋介 (2) 9m49

雨の心配がされていたが、見事な晴天となった。砲丸投げには矢川、林、神野が出場した。ランキング 1 位の記録をもっており、優勝を期待されていた林は 3 投目にして 10m14cm という好記録を出した。しかし、同じく 3 投目にして東大の佐々木が 10m23cm とさらに好投擲をみせた。だが、林も意地をみせ、6 投目にして、10m36cm の投擲をして 1 位をもぎ取った。矢川はミスに苦しみ、5 位に終わった。神野は 6 位ながらも自己ベストまであと 2cm という見事な内容であった。(小御門)

女子砲丸投

2位 増本 梨奈 (2) 6m58
3位 市塚 友香 (4) 6m45

女子砲丸投は相手の一番手の選手が記録的に飛び抜けているため、厳しい戦いが予想された。市塚、増本はなかなか力を乗せることができず、なかなか練習通りの力が出せない。途中までは増本 2 位、市塚 4 位と東大に後れをとってしまう。しかし、4 投目に市塚は会心の投擲を行い、東大の二番手を逆転。イーブンに持ち込んだ。2 人で励まし合い、喜び合いながら戦う姿が印象的であった。(渡邊)

三段跳

優勝	西村 優汰 (2)	14m03
4位	巽 浩之 (2)	13m06 PB
5位	日浦 幹 (1)	13m01

男子三段跳には西村、巽、日浦の3人が出場した。西村は2本目でトップに立ち独走態勢に。さらに6本目に手拍子を求めると14mを超える大きな跳躍で走幅跳との2冠を決めた。巽は2本目に13mを超える自己ベストの跳躍を決める。110mHと並行して競技を行っている為4本目、5本目をパスするも4位を勝ち取った。日浦はホップが乗らなかったためステップ、ジャンプが上手くいかず5位に終わった。結果としてはこの種目で貴重な勝ち越しを決めて京大の勝利に貢献した。(横山裕)



本職の走幅跳はもちろん、三段跳びでも圧巻の西村の跳躍

やり投

優勝	林 翔太 (4)	51m92
2位	川島 龍樹 (4)	46m75
3位	矢川 勝太 (4)	46m41

強かった風も収まったなか行われた男子やり投げ。京大の林が一投目から50m近い投擲を見せて、他をリード。矢川は今大会四種目ということによる疲れが、川島は肘の痛みとそこから来る不調が心配されたが、そうした不安をもものともせず記録を伸ばし、最終的には林が一位、川島が二位、矢川が三位と今東大戦唯一のスコルクを成し遂げ京大の歴史的な大勝利に大きく貢献するとともに、フィールド最終種目として華を飾ることとなった。(松田)



貫禄の大投擲で連覇を成し遂げた林

女子 3000m

優勝	岩橋 優 (3)	10.25.3
3位	田中 友里 (2)	10.40.2

女子3000mには先の七大戦以来調子を取り戻してきている岩橋、今季成長を続ける田中友が出場した。レースは最初の1周が90秒というスローペースで始まった。その後両校の4名は小さくまとまったまま徐々にペースを上げていく。集団がばらけはじめたのは2000m手前。東大の2番手が離れ、1番手も遅れをとりはじめるなか田中は岩橋の背中に食らいつく。岩橋はそのまま貫禄のスパートをかけ1着でゴール。田中も必死にゴールを目指すも東大の驚異的な追い上げによりラスト50mで逆転され3着となってしまった。(三村)

5000m

2位	平井 幹 (2)	14.52.1 PB⑩
4位	毛芝 雄己 (3)	15.09.7 PB⑩
6位	不破 佑太 (3)	16.00.2

京大からは毛芝 不破 平井の3人が出場。スタートで平井が飛び出すもその後集団に吸収される。不破が2000mで離れ始め、毛芝が3400mで集団から離れてしまう。平井はラスト1000mで仕掛けるが、東大の選手を引き離せず、逆にラスト一周で引き離されてしまう。3位の選手の猛追を受けるも平井は2位を死守し14分52秒のベストでゴール。毛芝も15分09秒の自己ベストで4位。不破は16分00秒の6位であった。これから平井、毛芝はこの勢いをそのままに、不破はうまく修正して駅伝につなげてほしいものだ。(横山高)

女子 4×100mR

優勝	51.7
【宮崎伶奈(1) — 釜谷美翔子(2)	
— 加奈山憲代(2) — 熊澤真奈(1)】	

東大戦、女子の最終種目である女子4×100mR。そのオーダーは宮崎→釜谷→加奈山→熊澤の走順。彼女たちはこの時のためにリレーバトンの練習をしっかりと行ってきた。そして女子の部ではこれまで多くの種目で勝ち越しており、最終種目である4×100mRでも期待がかかった。レースは1走と2走の間のバトンで決着がついた。東大がバトンを落としてしまい、そこで大差がついた。京大はゴールまでしっかりとバトンを繋ぎ、無事にゴール。最後を

勝利という形でしめくることができた。(山崎)

4×400mR

優勝 3.19.0

[花岡洋祐(2) - 庄司真(1)

- 森裕貴(2) - 長谷川聡(3)]

大差でむかえた最終種目、男子4×400mR。走順は花岡・庄司・森・長谷川である。以前の順から庄司・森を入れ替えた。1走花岡は好調なスタートを見せ、本人も納得のラストの粘りで2走庄司へ。庄司はさらに差をつけ、3走森へとつないだ時には20mほどの大差がつく。森もリードをしっかりと守り、4走、今大会で関カレ2部標準を切り絶好調の長谷川にわたった時には誰もが勝利を確信しただろう。最後まで一度も先頭を譲ることなく、見事東大戦優勝に華を添えた。(堀江)

堀江 一司	2.01.9	PB
浅井 健介	2.02.7	
神埜 勝	2.02.8	
山崎 英治	2.03.9	PB
河本 聡	2.10.0	
小野山博之	2.11.1	
四辻 諒平	2.11.3	
塚本 裕	2.12.7	
山瀬 康平	2.15.6	
中村 秀樹	2.18.1	
橋本 宏平	2.19.3	

▼5000m

小山 俊之	14.44.8	
山田 唯	14.49.2	
横山 裕樹	15.12.5	
小山 裕之	15.17.8	
前田 達朗	15.20.7	
荒木 伸哉	15.39.3	
小御門 道	16.23.9	PB
古藺 智也	16.35.2	
西田 峻	16.47.0	PB
三上 翔	17.01.7	
板垣 亮	17.12.2	
阿部 弘樹	17.13.7	
白石 晃將	17.18.6	
藤井 知暁	17.24.9	
中東 太一	17.40.2	
近藤 耕平	18.59.1	

▼走幅跳

谷口 裕幸	6.06	-0.2
矢澤 学	5.66	-1.8
小西 康晴	5.62	±0.0
森 洋貴	4.59	+1.6

▼砲丸投

森 洋貴	6.13	
------	------	--

▽800m

三村 有葉	2.43.0	
上田 容子	2.43.9	

オープンの部結果

▼200m

谷口 裕幸	22.6	-0.5
横山 高広	23.6	-2.7
岡田 洋	23.6	-1.8
天ヶ瀬匡昭	24.1	-1.8
吉川 慶	24.1	-0.4
桐山 真臣	24.4	-2.7
前田 靖朋	24.5	+0.2
栗田 京典	25.0	+0.2
小西 康晴	25.2	+0.2
森田 悠也	25.2	-0.4
近藤 耕平	25.9	-0.4

▼800m

宿利 隆司	1.59.2	
松田 優拓	2.01.4	PB
小山 裕之	2.01.5	

第22回関西学生対校女子駅伝競走大会

(9/24 神戸しあわせの村運動広場)

順位	記録	チーム	第1区 3.9km	第2区 3.3km	第3区 6.5km	第4区 6.5km	第5区 3.3km	第6区 6.5km
1	1:37:43	佛教大A	森 知奈美 (2) 12:28 (2) 12:28	前田 彩里 (2) 22:46 (2) 10:18	石橋 麻衣 (2) 44:11 (3) 21:25	吉本 ひかり (1) 1:05:03 (1) 20:52 NSR	竹上 千咲 (1) 1:15:44 (1) 10:41	竹地 志帆 (1) 1:37:31 (1) 21:47
2	1:38:59	立命大A	池田 睦美 (1) 12:20 (1) 12:20 ESR	藪下 明音 (1) 22:29 (1) 10:09	竹中 理沙 (1) 43:21 (1) 20:52 NSR	岩川 真知子 (2) 1:05:18 (3) 21:57	池本 かいり (2) 1:16:10 (3) 10:52	加藤 未有 (2) 1:38:59 (3) 22:49
3	1:39:45	京産大	奥野 有紀子 (4) 12:56 (4) 12:56	海野 佳那 (4) 23:46 (4) 10:50	九嶋 映莉子 (3) 45:03 (2) 21:17	古久保 亜衣 (3) 1:06:45 (2) 21:42	上畑 友香理 (3) 1:17:49 (4) 11:04	眞尾 美乃里 (3) 1:39:45 (2) 21:56
4	1:41:36	大院大	万代 美幸 (3) 12:44 (3) 12:44	風間 友希 (3) 23:27 (3) 10:43	前堂 紗弥香 (4) 45:38 (6) 22:11	三木 陽子 (4) 1:07:47 (5) 22:09	折野 加奈 (4) 1:18:38 (2) 10:51	浅野 里奈 (4) 1:41:36 (4) 22:58
5	1:43:53	関大	小西 莉穂 (5) 12:57 (5) 12:57	片平 悠水 (5) 23:57 (5) 11:00	西 真衣香 (5) 46:11 (7) 22:14	小山 夏子 (5) 1:09:26 (9) 23:15	西 祐衣香 (5) 1:20:41 (5) 11:15	高谷 静香 (5) 1:43:53 (6) 23:12
6	1:45:16	神戸学大	大迫 桂子 (13) 13:44 (13) 13:44	吉岡 千夏 (8) 24:55 (6) 11:11	川崎 菜由子 (13) 48:20 (15) 23:25	齋藤 公美 (9) 1:10:40 (6) 22:20	前田 華枝 (9) 1:22:07 (9) 11:27	貞森 美彩予 (6) 1:45:16 (5) 23:09
7	1:45:34	奈良産業大	柴田 愛美 (11) 13:41 (11) 13:41	松田 里菜 (9) 24:57 (7) 11:16	伊藤 ふき (7) 47:14 (8) 22:17	片山 千裕 (8) 1:10:27 (8) 23:13	松浦 真里奈 (8) 1:21:51 (7) 11:24	大塚 英梨子 (7) 1:45:34 (7) 23:43
8	1:47:00	人科大	比嘉 絵理香 (15) 13:57 (15) 13:57	今井 美早綺 (12) 25:23 (10) 11:26	小早川 智瑛 (11) 48:15 (11) 22:52	近藤 美香 (11) 1:11:36 (10) 23:21	佐々木 玲奈 (11) 1:23:16 (11) 11:40	有田 早希 (8) 1:47:00 (8) 23:44
9	1:47:28	光華女子大	稲垣 遙 (12) 13:42 (12) 13:42	和田 葉甫 (14) 25:36 (15) 11:54	中野 かおり (12) 48:19 (10) 22:43	林 亜沙美 (12) 1:11:47 (11) 23:28	古久保 梨沙 (10) 1:23:13 (8) 11:26	畑中 菜緒 (9) 1:47:28 (9) 24:15
10	1:47:48	武庫女大	箱崎 晶育 (9) 13:27 (9) 13:27	宮本 恵里佳 (11) 25:15 (12) 11:48	須山 愛 (8) 47:21 (5) 22:06	福井 賀奈子 (10) 1:11:28 (13) 24:07	西嶋 真裕 (12) 1:23:29 (13) 12:01	熊 智奈美 (10) 1:47:48 (10) 24:19
11	1:48:10	龍谷大	柿田 菜美 (10) 13:38 (10) 13:38	西嶋 望 (13) 25:30 (14) 11:52	空山 佳世 (14) 48:23 (12) 22:53	千原 恵理香 (13) 1:11:53 (12) 23:30	塩崎 侑莉子 (13) 1:23:34 (12) 11:41	井田 萌子 (11) 1:48:10 (11) 24:36
12	1:52:10	兵庫大	増田 七海 (19) 14:29 (19) 14:29	山本 ちなみ (19) 26:59 (20) 12:30	大貫 真実 (15) 49:28 (9) 22:29	小田 公子 (15) 1:14:43 (15) 25:15	岡本 麻衣 (15) 1:27:07 (15) 12:24	齋明寺 千佳 (12) 1:52:10 (12) 25:03
13	1:52:29	京教大	中村 真悠子 (8) 13:25 (8) 13:25	清水 万貴 (7) 24:48 (9) 11:23	佐藤 奈々 (10) 48:00 (14) 23:12	向井 成美 (14) 1:14:03 (17) 26:03	宮原 京子 (14) 1:26:11 (14) 12:08	稲岡 麻由 (13) 1:52:29 (15) 26:18
14	1:55:25	大阪大	平川 菜央 (18) 14:26 (18) 14:26	浅野 恵海 (18) 26:47 (17) 12:21	安川 由紀 (17) 50:24 (16) 23:37	益岡 佑季 (16) 1:15:07 (14) 24:43	澄川 美穂子 (16) 1:27:49 (17) 12:42	藤沢 裕理子 (14) 1:55:25 (17) 27:36
15	1:56:39	大阪国際大	亀井 葉月 (6) 13:15 (6) 13:15	赤井 未来 (10) 25:04 (13) 11:49	平井 結唯 (18) 51:26 (21) 26:22	山田 七恵 (20) 1:19:03 (21) 27:37	石上 久美香 (18) 1:31:29 (16) 12:26	西川 結奈 (15) 1:56:39 (13) 25:10

16	1:58:21	びわスポ大	前野 沙織 (17) 14:11 (17) 14:11	北村 阿子 (17) 26:40 (19) 12:29	木下 美里 (19) 52:01 (19) 25:21	新開 智礼 (18) 1:18:54 (19) 26:53	木村 斗子 (20) 1:32:37 (21) 13:43	城本 佳菜 (16) 1:58:21 (14) 25:44
17	1:58:35	京都大	田中 友理 (14) 13:53 (14) 13:53	加奈山 憲代 (16) 26:19 (18) 12:26	岩橋 優 (16) 50:19 (17) 24:00	三村 有葉 (17) 1:17:36 (20) 27:17	市塚 友香 (17) 1:30:57 (20) 13:21	上田 容子 (17) 1:58:35 (18) 27:38
18	1:59:02	和大	田中 友梨 (20) 14:49 (20) 14:49	山下 春華 (21) 28:13 (21) 13:24	山根 絵美 (20) 53:32 (18) 25:19	若林 有香 (19) 1:18:56 (16) 25:24	山口 明紀 (19) 1:32:11 (19) 13:15	柚木 彩華 (18) 1:59:02 (16) 26:51
	1:39:28 OPN	立命大B	津田 真衣 (OPN) 12:39 (OPN) 12:39	近藤 彩乃 (OPN) 22:51 (OPN) 10:12	鈴木 美乃里 (OPN) 45:23 (OPN) 22:32	三井 綾子 (OPN) 1:07:18 (OPN) 21:55	夏原 育美 (OPN) 1:17:40 (OPN) 10:22	後藤 彩 (OPN) 1:39:28 (OPN) 21:48
	1:39:37 OPN	佛教大B	渋谷 璃沙 (OPN) 12:23 (OPN) 12:23	田村 瞳 (OPN) 23:06 (OPN) 10:43	平井 恵 (OPN) 44:33 (OPN) 21:27	川嶋 利佳 (OPN) 1:06:44 (OPN) 22:11	中野 弥生 (OPN) 1:17:25 (OPN) 10:41	桑原 彩 (OPN) 1:39:37 (OPN) 22:12
	1:43:21 OPN	佛教大C	來海 りえ (OPN) 13:28 (OPN) 13:28	坂本 美咲 (OPN) 24:13 (OPN) 10:45	森 絵美 (OPN) 46:36 (OPN) 22:23	澤 美加 (OPN) 1:09:23 (OPN) 22:47	森下 幸穂 (OPN) 1:20:23 (OPN) 11:00	北尾 香穂里 (OPN) 1:43:21 (OPN) 22:58
	1:57:51 OPN	同大	湯浅 美帆 (OPN) 14:32 (OPN) 14:32	藤井 奈摘 (OPN) 26:58 (OPN) 12:26	成田 さゆみ (OPN) 52:18 (OPN) 25:20	白石 伊織 (OPN) 1:17:23 (OPN) 25:05	宮崎 穂菜実 (OPN) 1:30:34 (OPN) 13:11	青山 弘奈 (OPN) 1:57:51 (OPN) 27:17
	1:58:48 OPN	合同チーム	清家 実咲 (OPN) 15:14 (OPN) 15:14	植田 紗弥子 (OPN) 27:52 (OPN) 12:38	三須 麻里絵 (OPN) 53:36 (OPN) 25:44	奥平 晴香 (OPN) 1:19:21 (OPN) 25:45	西村 有明子 (OPN) 1:32:15 (OPN) 12:54	庵原 瑞穂 (OPN) 1:58:48 (OPN) 26:33
	2:04:04 OPN	桃市大	高石 真紀 (OPN) 17:53 (OPN) 17:53	巖 恵理 (OPN) 31:30 (OPN) 13:37	野村 亜紀 (OPN) 56:17 (OPN) 24:47	武田 ゆり (OPN) 1:24:00 (OPN) 27:43	伊藤 愛慧 (OPN) 1:38:01 (OPN) 14:01	平野 真由子 (OPN) 2:04:04 (OPN) 26:03
	DSQ	大体大	大塚 理子 (16) 14:07 (16) 14:07	呉山 悦子 (15) 25:40 (11) 11:33	岡 小百合 (6) 47:10 (4) 21:30	上出 彩可 (6) 1:09:47 (7) 22:37	十川 阿佑美 (6) 1:21:02 (5) 11:15	白川 絵里 DSQ *T3
	DSQ	大阪芸大	東本 彩 (7) 13:19 (7) 13:19	小栗 由生 (6) 24:35 (7) 11:16	林田 詩緒里 (9) 47:41 (13) 23:06	飯田 奏 (7) 1:09:48 (4) 22:07	曾我部 夏実 (7) 1:21:16 (10) 11:28	酒井 優実 DSQ *T3
	DSQ	大府大	関岡 由希子 (21) 15:31 (21) 15:31	大石 真由香 (20) 27:49 (16) 12:18	西村 実希子 (21) 53:54 (20) 26:05	前田 梨奈 (21) 1:20:18 (18) 26:24	小池 徳子 (21) 1:33:13 (18) 12:55	松本 迪子 DSQ *T3

- *T3:走路外インフィールド侵入
- DSQ:失格
- OPN:オープン参加
- ESR:区間タイ記録 EQ. Sect. Record
- NSR:区間新記録 New Sect. Record

新主将挨拶

新たに主将を務めさせていただくことになりました水元惟暁です。今年度、男子は関西インカレ、七大戦共に目標を達成できず、悔しい結果を味わいましたが、東大戦では勝利を収めることが出来ました。4回生が抜け、特に投擲の人口が極端に少なくなり、来年度は厳しい戦いが予想されますが、今シーズンを忘れず、チーム全体で勝利を強く求めていこうと思っております。また、女子は七大戦総合3位、東大戦6連覇と目標を達成し、下回生の戦力も充実しており、今とても勢いがあります。

部員一同、来年度の関西インカレ一部昇格、七大戦、東大戦アベック優勝に向け日々努力をして参ります。まずは来たる11月、関西学生駅伝にて上位入賞し、よい流れを作っていきたいと思っております。

蒼穹会の皆様におかれましては、これからも変わらぬご支援、ご声援のほどをよろしくお願い致します。

京都大学陸上競技部新主将

水元 惟暁

新幹部紹介

主将	水元 惟暁
副将	清水 宏幸
女子主将	岩橋 優
主務(学連担当)	永田 和寛
主務(渉外担当)	中東 太一
主務(体育会担当)	浅井 健介
短短パートチーフ	眞武 俊輔
短長パートチーフ	長谷川 聡
中距離パートチーフ	水元 惟暁
長距離パートチーフ	毛芝 雄己
跳躍パートチーフ	飯村 大智
投擲パートチーフ	林 真幸



蒼穹ニュース 平成23年度 第6号
平成23年10月8日 発行

発行所：京都大学体育会陸上競技部
編集者：近藤勇太・水谷浩人・渡邊健紀（副務）
特別協力：山口昌太・樋口祐磨（学連員）
吉川慶（記録係）・秋元一志（HP係）
写真担当：神野洋介・西田昌弘・水上裕介

陸上競技部 HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/index.html>
ミラーサイト <http://www.geocities.co.jp/Athlete-Samos/2360/>
陸上競技部記録 HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/kiroku/index.html>
関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>
メールアドレス kerorinpic@e-broad.ne.jp（近藤）